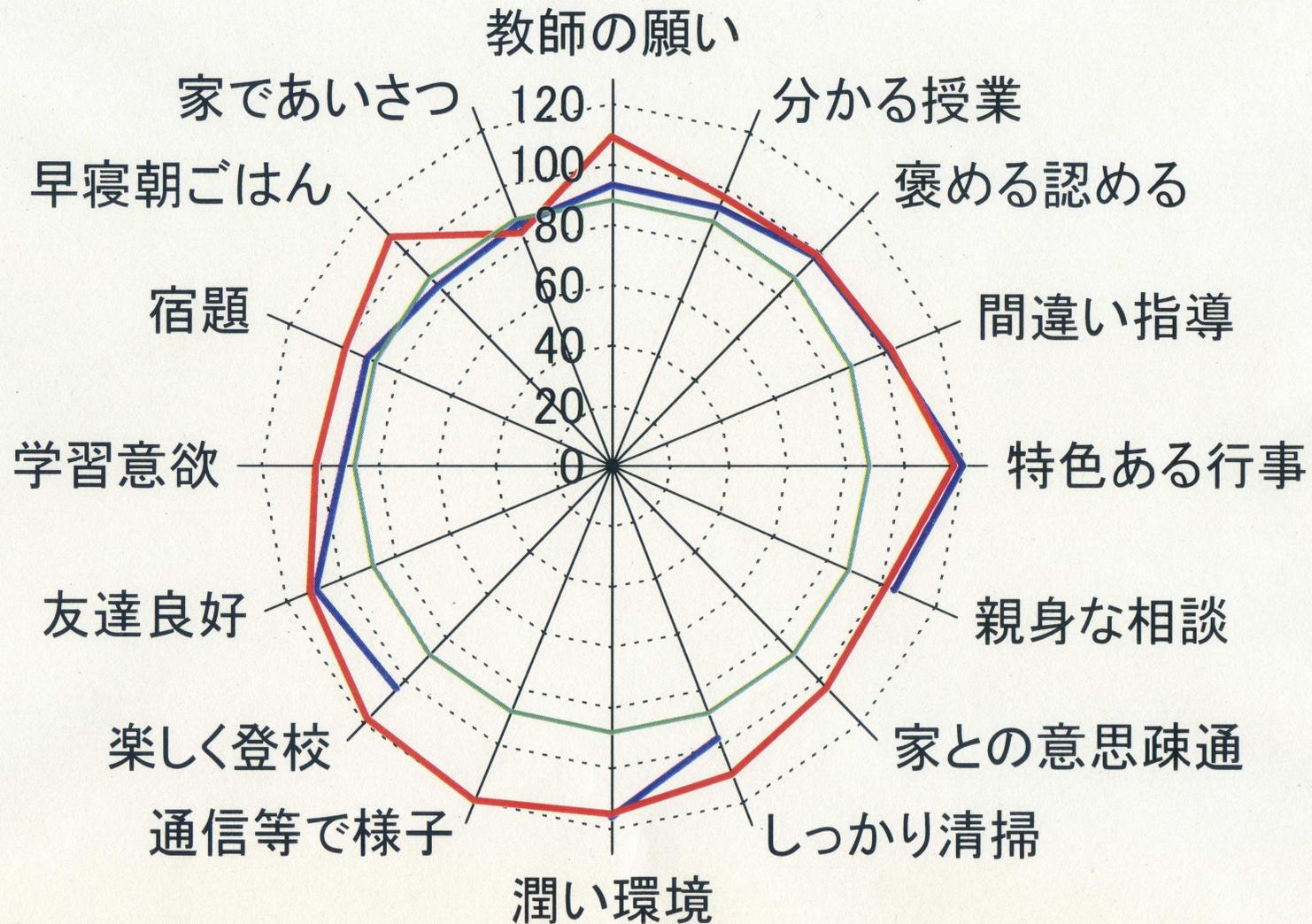


【2008年度1学期末児童・保護者アンケート 全校結果】

— 児童 — 保護者 — 到達基準



考 察 と ま と め

国津小学校 2008年9月5日

全体的に

年度始めの通信での重点目標の一つとして、達成目標数値を80%にしました。

「とても・よく」+「まあ・やや」でレベル80% (そのうち「とても・よく」が全体の25%以上)

とても・よく	まあ・やや	未回答	あまり	全く
25%	80%			

これを基準としてみた場合、両者合計では、全ての項目で目標数値を達成している状態であるといえます。全16項目平均でも、昨年度末の87%から89.8%に上昇しました。このことに満足せず、更に質の高い教育活動を進め、児童・保護者の満足度が、より高い学校を目指したいと思います。

一昨年度目標数値に達していなかった⑥「教師は悩みや相談に親身に対応している」や⑦「教師は、意思疎通を図るため、家庭への連絡をきめ細かに行っている」について、どちらも67%だったのが、昨年度は79%、85%。今年度は89%、91%という評価をいただきました。2年前から、全職員がこのことを課題とし、大切にしようとして取り組んできた成果だと思っています。

しかし、少ないとはいえ、「あまり」「まったく」という回答もありました。また、全体では見えませんが、学級ごとに課題が見えています。このことを学校全体でしっかり受け止めて、全ての児童・保護者の方から「満足」という声をいただくことができるよう努力していきたいと思います。

課題として

【児童の回答から達成基準を満たしていない項目】

- レベル75%と目標数値に達成しなかった「⑮早寝・早起き・朝ごはんを実行している。」という項目です。

ところが保護者の方からは、97%のレベル回答がありました。おそらく、どのご家庭でもできているということでしょうが、子どもたちが意識して「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけ、実践意欲を自ら高めようとする自己管理能力をつけていくことが課題だと感じています。

【児童・保護者両者合計の回答で達成基準を満たしていない項目】

- 「⑯家庭であいさつをよくする。」という項目で、レベル73%でした。昨年度は85%でしたから、大きく下がりました。学校でのあいさつは、かなりできてきたと思っていますが、あいさつは色々な場面で必要です。まだまだ教えていかなければならない必要を感じています。ただ、学校は勿論のこと、家庭や地域でも言葉がけを増やしていただき、色々な場所、場面であいさつは大切なんだと、子どもたちに感じさせていきたいと思います。2学期に、学校でも新たな取り組みを展開していきます。よろしく願いいたします。

【達成基準は満たしているが、気になる項目】

- 「⑭学校の宿題をきちんとやっている。」について、84%と基準には達成していますが、昨年度が95%だったことを考えると、気になるところです。
- ⑬学習意欲は昨年度と変化がありませんが、家庭学習の内容や量的なことも含め、無理がなかったか等、2学期様子を見ながら各学級で対応していきたいと思えます。家庭学習の定着は、今後の学力の定着向上に大きく影響してきます。ご家庭でも励ましの言葉がけと、確かめをよろしく願いいたします。

《保護者からの声》

2008. 7

- 家族のような学校で、とても満足しています。

ありがとうございます。このことを今後も励みにして取り組んでいきます。逆に家族のような学校だからこそ、“外に出す”ことも考えています。昨年度からの課題である職場体験学習を高学年で実施していく方向で検討しています。

- 朝の通学や参観で見る高学年児童の下の子たちに対する接し方は、大人の私も見習わないと、と思うことがあり、感心させられます。

通信やホームページでも書いていますが、私たちも同感です。特に今年の高学年は顕著です。この校風をこれからも大切に育てていきたいと思っています。

- 低学年なので自分中心なのは仕方のないことですが、これから先、友達の行動や下級生の行動を理解できる子どもになってほしい。自分と他の子の違いにも目を向けられるよう、違って当たり前という考えを持ってほしいです。
- 物事をいろんな角度で見ることができ、発想の転換のできる人になったら生きやすいだろうなと思います。(自分自身への願いでもあります)

昔から、発達段階の特性として、低学年は自分のことで精一杯の時代、3年生はギャングエイジという自己主張が強い時代、4年生で少しずつ落ち着きや集団のまとまりが出てくる時代、高学年は、身の回りの問題から地域や社会への関心が出てくる時代・・・と言われてきました。家庭と学校が連携し、「違い」を認める感性を育むために、適切な言葉がけや適切な教材で、一步一步しっかり成長するようにかかわっていきたくと思っています。

また、成長過程での経験や学習で色々な考え方に触れ、発想の転換力、気持ちの切り替えができる力、ものの見方考え方を身につけていきます。子どもの心を揺さぶり、方向性を指し示し、どう考えていくことがいいのかを教えるのは、私たち大人の仕事です。学校、家庭、地域と立場は違えど、子どもたちが迷うことのないよう、しっかり連携して成長を支えていきたいと思えます。

- 私自身まだ学校の中身にしっかり触れていないところがあるので、記入も迷うところがありました。子どもはなじんでいるのですが、1日の内容はよく話してくれるのですが、私自身がそこからまだ「学校」というところまでを把握していないところがあります。

お子さんを通して見えてくる学校の現状もありますし、職員とかかわる中で見えてくる学校の姿勢、参観等で見えてくる授業の様子・・・すべてを把握していただくのは難しいですが、できる限りの情報をもとに評価ください。不明な点や不安な点は、お気軽にご連絡ください。また、参観や懇談はいつでも対応していますし、こちらからお声をかけさせていただくこともあります。よろしく願います。

○もっと特色のある学校にするために、もっと行事を増やせばいいと思う。

限られた時間の中で、これ以上行事を増やすことは難しいと考えています。来年度からは、新学習指導要領（平成23年度より完全実施）への移行期間ということで、授業時数も週当たり1時間増えます。「ゆとり」への反動で、教科学習の時間が増えるのです。行事としての増加ではなく、中身を検討し、もっと特色のある行事を目指すとともに、各教科の中で、国津ならではの「ひと・もの・こと」を生かした特色ある教材作りに取り組んでいきます。

○地域には、だんだんと地域や家庭における役割が少なくなっている老人や定年退職して、能力を十分に発揮する場を持っていない人が増えているように思います。学校がお願いすれば、花を植えたりお世話してくれる人もいないではないでしょうか。地域の人たちでも何人か寄ればすごいパワーアップするので、地域の人たち同士を結ぶ役割も果たせると思います。ボケ防止とパワーアップに学校も一役買ってください。縫い物なんかもいいと思うし、こんにやくを作るとか・・・おばあちゃんたちが持っている知恵と技をいろいろな子どもに伝授する手作り講座を持ってみてはどうかと思います。

貴重なご意見、有難うございました。1学期は1年生で畑作りを教えてもらいました。上記の国津の「ひと」を生かした教材作りに取り組むとともに、2学期以降も努めて協力いただけるようお願いしていきます。まずは元気アップセミナーで、集っていただけたらと考えています。

●この学校は自習が多いような気がするのですが、そのときに誰か他の先生が入ることは不可能なのでしょうか。（他の先生と授業を調節するのは無理?）

「自習が多い」という意味ですが、具体的にはどういうことでしょうか？学校としては、名張市の諸会議や研修会での出張があるときのことかな？と考えています。違っていたら申し訳ありません。できるだけ授業の調節をしながら、時間割を調整して自習にならないように努めていますが、確かに自習の時間もあります。職員数が少ないので、特に6時間目からの出張が多いのは事実です。6時間目の自習課題は担任の指示で出しています。低学年は、必ず誰かがその支援に当たるようにしていますが、高学年は最初と最後だけ支援に入るようにしています。あとは、複式授業で指導者が一方の学年に直接指導している時のもう片方の自学のことでしょうか？ また、教えてください。

○ホームページで学校の様子が伝わってきます。学校の教育方針も入れたらどうでしょうか。先生方や保護者の皆さん、そして地域など多くの方の姿、学校にかかわる活動の姿は、子どもたちによい影響があると思います。

有難うございます。早速「学校教育目標」のページを付け加えました。このアンケート等、学校評価についてもホームページで公表していきます。保護者の立場で、「こんなのもあればいいのに」ということがありましたら、お声をかけてください。J-KIDS大賞都道府県優秀校に、今年も選ばれました。

貴重なご意見 ありがとうございます。

2学期以降、改善するところは改善し、さらに「成果のある学校」になるよう、職員が一丸となって学校・学級運営をしていきます。3学期には、今年度の総括としてのアンケートをまたお願いする予定です。

今後とも温かく、厳しく私たちを見守っていただき、「教師と保護者が一緒になって創り上げる学校」めざして、がんばりましょう。よろしくお願い申し上げます。

2学期より職員が大切にすること

【生き生き にこにこ 国津小職員】

今まで以上に

- ◎ 家庭とのきめ細かな連携を大切にします
 - ・ 進んで連絡 進んで対話 すばやい対応 を実行していきます。
- ◎ 褒めて 寄り添って 子どもにとっての安心感を大切にします
 - ・ 子どもの思いを聴き切る言わせ切ることに努めます。
 - ・ 思いっきり褒めることを実践します。厳しく温かくかわります。

アンケート課題から具体的な取り組み

- ◎ 「早寝・早起き・朝ごはん」意欲付けの取り組み
 - ・ 健康学習を実態に応じた内容で充実させます。
 - ・ ハンカチ(毎日)や給食着(金曜日)を予定帳の持ち物に書くことにします。3日間個々の様子を見、保護者の方と相談し、進めていきます。
- ◎ ドラえもん「どこでもあいさつー！」強化週間の取り組み
 - ・ 毎月第1週をあいさつ強化習慣として位置づけます。
 - ・ “ドラえもん「どこでもあいさつー！」”をキャッチフレーズにして、子どもたちに意識付けをします。ご家庭でも活用していただき、「どこでも」「誰とでも」あいさつができるよう習慣づけていきます。
- ◎ 朝学習の充実 と 宿題100%の取り組み
 - ・ 8:25~8:35 までの朝の学習を定着充実させます。自学の力向上を。
月・金＝ドリル等 火・木＝読書 水＝全校集会
 - ・ 宿題をすべての子どもにしっかり取り組ませる手立てを講じます。
子どもへの言葉がけ 家族の協力 内容吟味 励まして意欲作り